

2025年2月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	△1.3	大 宮 店	△3.1
堺 店	△5.3	柏 店	※2 △5.0
京 都 店	※1 △2.2	E C 店	+26.2
泉 北 店	△6.1	(株)高島屋各店計	+1.7
日 本 橋 店	+10.5	岡 山 高 島 屋	△10.3
横 浜 店	+0.7	高 崎 高 島 屋	△3.2
新 宿 店	+6.1	国 内 百 貨 店 計	△0.5
玉 川 店	+5.5	国 内 百 貨 店 既 存 店 計	※3 +1.3

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

- ※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。
※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。
※3 2024年7月に営業を終了した岐阜高島屋の前年実績を控除しています。

■ 概況

- 店頭売上高の前年比について、前年の「閏年」反動や2月度における「春節」日数減(前年増減△4日間)の影響もあり、△0.5%と前年実績を下回りましたが、既存店対比では+1.3%と上回りました。
- 国内顧客売上高の前年比(※既存店対比)は△2.4%(※△0.3%)と気温が低かったこともあり、紳士服、婦人服など春物の動きが弱く、前年実績を下回りました。
- 免税売上高は前年比+11.4%で推移しました。なお、本年1月28日~2月4日、前年2月10日~2月17日の「春節」期間対比では前年比+28.4%となりました。
- 店舗別売上高は、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、EC店が前年実績を上回りました。
- 商品別売上高(当社分類)は、婦人雑貨、特選衣料雑貨、スポーツ、サービスが前年実績を上回りました。